

平成29年

入学試験を施行

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人
発行日 偶数月末日
定価 1部10円
編集室 (〒951-8580)
新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



大学のシンボルマーク



挙手して選択科目の問題冊子を求める受験生たち(2月1日・東京)

両学部の合格者発表

東京短大、新潟短大の入学試験も

平成二十九年度の日本歯科大学入学試験は、一月中旬のセンター試験と二月初旬の本学試験をもって東京で施行し、両学部の合格者を発表した。本年も同一試験日に、生命歯学部と新潟生命歯学部との受験と併願が可能な「全学部入試」を実施した。あわせて、東京短期大学と新潟短期大学の入学試験が行われた。

平成二十九年度の入学試験は例年のように、大入試センター利用入学試験と、本学で実施する一般選抜試験の二本立てで行われた。

本学では本年も、同一試験日に両学部の受験と併願が可能な「全学部入試」を、一般選抜とセンター利用入試で実施した。

一般選抜入学試験の前期試験は、生命歯学部(東京)において英語I・II一科目、国語・数学のうちから一科目、理科(物理・化学・生物のうちから選択)一科目、計三科目の学力試験、ならびに面接試験を二月一日に実施し、四日に合格者を発表した。

センター利用前期入学試験は、本学が指定した科目(二十七年次から外国語は英語が必須)の受験者に対して、二月五日

NDU Open Campus 2017 (詳細はHPに掲載)

- 【生命歯学部】
- ① 校友対象 7月2日(日) 生命歯学部
 - ② 通常 7月23日(日) 生命歯学部
 - ③ 多摩クリ 7月26日(水) 多摩クリニック
 - ④ 入試対策 8月10日(木) 生命歯学部 (AM:英語、PM:数学)
 - ⑤ 模擬授業 8月26日(土) 生命歯学部
 - ⑥ 病院見学 9月24日(日) 附属病院
 - ⑦ 通常 10月28日(土) 生命歯学部 (富士見祭)
 - ⑧ 通常 10月29日(日) 生命歯学部 (富士見祭)
 - ⑨ 校友対象 11月26日(日) 生命歯学部

- 【新潟生命歯学部】
- ① 5月20日(土)、② 6月10日(土・浜浦祭)、③ 7月26日(水)、④ 8月8日(火)、⑤ 8月22日(火)、⑥ 9月30日(土)
- 10:30受付 11:20~16:00

- 【東京短期大学】
- ① 7月24日(月)、② 7月28日(金)、③ 7月31日(月)、④ 8月4日(金)、⑤ 8月25日(金)、⑥ 12月25日(月)
- 受付開始13:00 実施13:30~ 会場:生命歯学部九段ホール

- 【新潟短期大学】
- ① 5月21日(日)、② 6月11日(日・浜浦祭)、③ 7月8日(土)、④ 8月3日(木)、⑤ 8月24日(木)、⑥ 10月14日(土)
- 12:30受付 13:00~16:00

日歯会長選挙 堀会長を再選

日本歯科医師会会長選挙の開票が二月十七日に行われ、現職の堀憲一郎先生(六十八回卒)が再選を決めた。任期満了に伴うもので、立候補者は堀会長一人だった。投票総数六〇五票、無効十一票で、有効投票のうち五九四票を獲得した。六月の代議員会終了後の理事会で、正式に会長に就任する。

日本歯科医学会 住友会長が三選

日本歯科医学会の任期満了に伴う会長選挙が、二月二十日の第九十五回評議員会で行われ、現職の住友雅人先生(五十八回卒)が無投票当選を果たした。任期は七月一日から、二〇一九年六月三十日まで。

追って一般選抜後期入学試験(学力・面接)とセンター利用後期入学試験(面接)は、いずれも三月五日に生命歯学部(東京)において「全学部入試」を実施する。

東京短期大学歯科技工学科と歯科衛生学科の一般入試試験は、一月二十二日に学力試験と面接試験を実施した。一般入試試験は、三月四日に小論文と面接試験を実施した。

新潟短期大学歯科衛生学科では、大学入試センター利用入学試験を二月五日に、一般選抜前期入学試験を二月二十五日に実施した。

◆平成29年度 ポストグラデュエート・コースのご案内◆

コース	日程	テーマ	担当
A (生命歯学部) 1.5日コース	7月22日(土) 7月23日(日)	日常臨床における基礎・診断・治療をあらためてとらえる -歯周・矯正・画像診断・解剖からみた重要ポイントと活用-	生命歯学部 解剖学第1講座 歯周病学講座 歯科放射線学講座 附属病院 診療部・矯正歯科
B (新潟生命歯学部) 1日コース	8月6日(日)	歯科治療時の注意すべき全身疾患とその対応 -最新の心肺蘇生法(2015年)と救急対応(静脈路確保・薬剤投与)-	新潟生命歯学部 歯科麻酔学講座
C (新潟生命歯学部・生命歯学部) 1日コース	8月27日(日)	これから始めるマイクロスコブ診療 -マイクロエンド初級-	新潟生命歯学部 歯科保存学第1講座 生命歯学部 歯科保存学講座

- ◆申込み受付期間
Aコース6月2日(金)~6月26日(月)、Bコース6月2日(金)~7月3日(月)、Cコース6月2日(金)~7月31日(月)
- ◆FAX、メール、またはホームページにてお申込みください。
※詳細は5月発行の『校友会・歯学会会報』同封の冊子「平成29年度ポストグラデュエート・コースのお知らせ」でご案内します。
※Cコースは、新潟生命歯学部にて平成27年度、28年度に開催されたコースと同様の内容です。
より多くの先生方が受講できるよう、初めての方のお申込みを優先させていただきます。

平成29年度 歯学会大会・総会のご案内

日時:平成29年6月3日(土)
11:00~17:00(予定)
場所:日本歯科大学新潟生命歯学部
講堂・アイヴィホール

■メインテーマ:
「薬物関連顎骨壊死を制するために」
(公開シンポジウム形式を予定)

大会長 山口 晃 (新潟病院 病院長)
準備委員長 戸谷 収二 (新潟病院 口腔外科)

email:akira@ngt.ndu.ac.jp

最高レベルの生物科学施設

ライフサイエンス研究へ 新潟生命歯学部



竣工した生物科学施設（9号館）2階にSPF（特定の病原体を含まないことを保証された動物）のラットとマウスの飼育施設を新設

新潟生命歯学部では、昨年三月から進めていた先端研究センター・生物科学施設の新改築工事が昨年末に完工し、一月十七日に竣工式を執り行った。午前十一時から本学関係者が参列して、新潟白山神社の神職により神事が執り行われた。この生物科学施設は、二月十六日から本格的に稼働する。一九七三年（昭和四十八）の建築以来、四十年以上が経過し



ており、三度目の改修となる。一階部分は前の建物を残して改修し、その上に二階を増築した。一階は約九十坪、二階は一〇〇坪、併せて二〇〇坪という大規模な施設になった。

新潟・白山神社の神官による竣工式典

ラット、マウスの飼育施設を独立させ、イヌやウサギ、ブタの飼育施設を改善して、エックス線室、手術室、感染実験室、遺伝子組換え実験室、免疫不全実験室など、十分な設備が整備されたことより、施設面における適正・適法な動物飼育環境が実現した。医療の発展や創薬等に資するライフサイエンス研究には、動物実験が必要で止むをえない手段であり、それによって得ら

勝海教授（東京保存）最終記念講義 「歯内療法学 43年」



勝海教授（左）に記念品を手渡す 中原学長

講義終了後、同門会員らと記念撮影



勝海一郎教授の最終記念講義が、一月二十六日（木）午後五時三十分から

生命歯学部九段ホールで行われた。演題は「歯内療法学四十二年」。歯科保存学講座主催・生命歯学部協力による記念講義には学生、大学院生、教職員や関係者が聴講し、講義終了後、中原学長から記念品が手渡された。勝海教授は昭和四十九年本学卒業（六十三回卒）。五十三年大学院歯学研究科修了、同年四月本学歯学部歯科保存学教室第一講座助手、講師を経て、平成七年四月教授に就任、二十二年間にわたり歯科保存学講座を主宰した。歯学会会長を務める。

東京・附属病院 新たな試み！イベントを開く



本年度は新たな試みとして、小児対象のイベントと大人対象の公開講座との二部制に分けて実施した。まず、イベントとして、JR飯田橋駅西口が設けられた附属病院前にテントを張り、岩崎てるみ小児歯科講師を中心としたスタッフが一〇名、歯になりにくい？なりやすい？目でみてみよう！と題するむし歯のリスク検査を行った。この検査はブラーク酸産生能検査キットを使用し、判定色で保護者に「むし歯リスク」を理解して頂くもので、ブリスに立ち寄り短い時間で歯磨きの大切さを理解してもらったことをねらったもの。駅前通りを通りすぎた。まず、イベントと

れた成果は、臨床的に応用され、人々の健康と福祉に多大な貢献がなされている。

新潟・関屋地区公民館 口とからだの健康公開講座



恒例の「日本歯科大学健康公開講座」が、二月十九日（日）、新潟市中央区の関屋地区公民館で開催され、一〇〇名程の市民が聴講した。同公開講座は、新潟生命歯学部と関屋地区公民館との共同企画で、毎年二月の日曜日に開催されている。十時から開催された公開講座では、まず「オーラル・フレイルを学ぶ」の演題で、新潟病院口腔外科の戸谷収二准教授が講演した。「口のかわき（新潟生命歯学部食育・健康科学講座併任）は、口の衰えを感じる時として、一口のかわき、舌のヒリヒリ、味の異常、滑舌や飲み込みが悪いなど、高齢になることで筋力や精神面が衰える状態であるオーラル・フレイルについて解説した。高齢者の足腰の筋力低下予防には、運動面だけではなく、「食」による対応も必要であると述べた。次に、「今さら聞けない（？）乳がん」と「乳がん検診」の演題で、新潟生命歯学部外科学講座の大竹雅広教授が講演した。

日本人女性の十二人に一人は乳がんにかかると言われていて、乳がんを予防することはできないが、早期発見・早期治療で乳房切除や抗がん剤治療をしなくてもすむことがある。そのためには、「自己検診」と「乳がん検診」の二つが大切で、自分で発見できる癌であると述べた。

東京・新潟で病院ロビーコンサート



附属病院1階ロビーでのコンサート



4階まで吹き抜けの新潟病院ホール

引き続き行われた講演会は、「色でわかるお口の病気く白・赤・黒」と題し、小林隆太郎教授（口腔外科）により行われ、千代田区の掲示板や歯科医院の紹介により、講演会を知った二十名程の聴衆が集った。参加者からは「内容の流れが変わったことか

高い講座でした」「口の内に色素沈着があるのは知らなかった」「日々のハミガキの時にしっかりと口の中をチェックしよう」と思いました。等の声に寄せられた。今回は飯田橋駅の改修工事に伴いJR利用者の流れが変わったことか

院内にクリスマスの音色響く 8年目

東京・附属病院で十二月二十一日（水）、通院や入院患者に向けて、生命歯学部アンサンブル部有志と病院教職員によるクリスマスソロビオコンサートが行われた。このコンサートは、クリスマス恒例行事となり今年で八年目を迎えた。当日は一階ロビーのコーナーに五十席の客席が設けられ、演奏はアンサンブル部顧問の阿部恵一先生（麻酔科）他四名の先生方。学生は第五学年の部員二名と大学院生一名が、クリスマスにちなんだ曲を奏で、満席となつた聴衆を魅了した。中にはこのコンサートを楽しみに来院する患者さんもあるほどで、スマートフォンで動画を撮影する人も多く見られた。聴衆には学生から口腔ケア用品がプレゼントされ、ロビーはクリスマスらしい雰囲気であふれた。

新潟で弦楽デュオの夕べ 5回目

ロビーコンサートが一月十三日（金）、新潟病院と医科病院の待合ホールで開かれた。今回で五回目となる。コンサート

（附属病院事務部長 鈴木洋一）

の演奏者は、ヴァイオリンの庄司愛さんと、チェロの渋谷陽子さん。お二人はともに桐朋学園大学音楽学部を卒業して、新潟を拠点にトリオ・ベルガルモ、新潟ARSENALのメンバーやソノヴァのメンバーやソノヴァとして演奏活動中。ヴァイオリンとチェロによる二重奏は、バッハの曲からはじまり、ときにゆったりと、ときに激しく病院ロビーに響き渡った。心地よい弦の調べに身を委ねるうちに予定の時間はすぎ、アンコール曲は「アマポーラ」。ヒナゲシの花をモチーフにした美しいラブリソングの音色に、聴衆たちは聞き入った。